

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

5月末に白馬スノー
ハープで開催された大
北地区森林祭に参加す
る。次代を担う大北管
内の、みどりの少年団
と地域の皆さんが協働

して広葉樹等の苗木植
栽が目的だ。当日は、
時折、小雨。子供達を
心配する気象だった
が、開式の行事には青
空も垣間見えて一安
心。しかし、気象予報
は雨。少しでも、子供
達に楽しい思い出を
持って、緑化や森林づ
くりの大切さをと、開
式行事の早めの進行を
期待するが、台本通り
の進め方に、「違っただ
ろう」との思いを抱い
てしまう。

多くの行事は、主催
者・複数の地元自治体
の長・来賓の議員・そ
してゲスト関係の皆さんが
続く。果たして話
す内容を覚えている人
がどれだけいるのたろ
うか。参加者の多くは
子供達だ。事業を実施
するためには、多くの
関係者の協力や支援、
そして事業を裏付ける
予算確保は、事務方に
とって必要なかもしれ
ないが、配布資料に

馬村嶺方地籍で開催さ
れた、長野県植樹祭で
の国会議員の若林正俊
さんとの会話を思い出
す。若林さんは、環境
大臣や農林水産大臣の
要職を務められた政治
家だ。白馬村役場在職
中に、国会議員会館内

ある。嶺方会場でも、
木陰のベンチから「久
し振り」と声を掛けて
頂いた。「かしこまっ
た開式行事は苦手、主
役は地域の皆さん」の
言葉は強い思い出と
なっている。
作業は、「八坂みど
りの少年
団」とホタル
ル生息地周
辺の植栽。

植樹祭の一番大切な事は、植栽 後の管理を担う地元の意識だ

「メッセージで済ま
す」など、考えてほし
いと思った人は多いは
ずだ。予想通り作業後
半には、降雨に見舞わ
れ、午後の森林教室は
中止になってしまっ
た。
平成15年5月に、白
馬村嶺方地籍で開催さ
れた議員勉強
会へ話に行ったとこ
ろ、会議に出席してい
た若林先生から「久し
ぶり、白馬頑張ってい
るな」と声を掛けて頂
き、同席していた国の
関係部課長との関係を
築いていただいた事が

ある。嶺方会場でも、
木陰のベンチから「久
し振り」と声を掛けて
頂いた。「かしこまっ
た開式行事は苦手、主
役は地域の皆さん」の
言葉は強い思い出と
なっている。
作業は、「八坂みど
りの少年
団」とホタル
ル生息地周
辺の植栽。
カツラは、高さ30m、
直径2mにもなり、葉
はハート型に似た円形
が特徴的で、中国の伝
説では、「桂」は「月の
中にあるような高い理
想」を表す大木だ。こ
の樹木が育ち、森の中
に住むホタルが守ら
れ、毎年行われる「内
山のホタル観賞会」が
ことしは、6月28日か
らだ。みんなで観賞に
出掛けませんか。
(NPO法人信州地域
社会フォーラム理事・
白馬村森上)



八坂みどり少年団のメンバー、将来の
植栽した樹木の重ねた年数の物語を聞
く場面が楽しみだ